

若手監督官（石川労働局採用）インタビュー

Q. 石川労働局の雰囲気は？

【法文系区分採用】令和2年4月 任官

先輩や上司は親切な方ばかりです。困ったことがあればすぐに相談できますし、安心してのびのびと仕事ができています。年次有給休暇を取得が推進されていて、プライベートの時間はとりやすいです。また、一人に負担がかかることがないように、上司や先輩が気にかけてくれていて、働きやすい環境だと思います。

Q. 人事制度について

現在の人事制度では、採用された労働局で2年間勤務し、その後2年間は全国の労働局へ異動します。私は全国異動の2年間、香川県で勤務しました。都道府県が異なると、県内産業の特徴や労働局内の雰囲気も異なり、いろいろな経験を積むことができました。また、別の土地での生活は新鮮で、休日はたくさん観光しました。異動先の職場の皆さんとよい人間関係を築くことができ、非常に貴重な2年間でした。その後は採用された労働局で勤務することになり、地域の方々と身近に接しながら仕事ができていると感じます。



Q. 仕事をしている中で大変なこと（解決法もあれば教えて下さい！）

労働基準監督官の業務では、法律について説明する機会が多くあります。説明する相手の立場は様々ですから、その都度、相手の立場を考慮して、理解、納得してもらえるように考えて対応しなければなりません。うまく伝わらないこともあります。そういった過程で様々な知識や人への伝え方について学ぶことが多いです。